

NPO／NGOが持続的に発展できるよう、  
組織基盤の強化を応援します



# Panasonic NPOサポート ファンド

— 2013年募集 —

## 助成テーマ 客観的な視点を取り入れた組織基盤の強化

NPO／NGOがより戦略的に社会課題を解決できるよう組織基盤の強化をはかるには、多様で客観的な視点を取り入れて組織を見直し、自己変革を行うことが重要です。

本ファンドでは、国内で先進的な取り組みを展開するNPOや、新興国・途上国で活動するNGOが、第三者の多様で客観的な視点を取り入れて実施する組織運営上の課題解決のための取り組みを応援します。

### 助成対象



#### 環境分野

環境問題に  
取り組む  
NPO／NGO



#### 子ども分野

子どもたちの健やかな  
育ちを応援する  
NPO／NGO



イヤバシティブルディング フォーラム  
～組織診断のすすめ～  
特定非営利活動法人パナソニック・スマート・ソリューションズ株式会社



応募受付期間 2013年  
**7/16 火～31 水 必着**

本ファンドは、NPO／NGOの現場に即した効果的なプログラムとするために、特定非営利活動法人 地球と未来の環境基金、特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド、パナソニック株式会社が協働して企画開発・運営しています。

# 持続可能な社会の実現に向けて

## Panasonic NPOサポートファンド 趣旨

パナソニックは、持続可能な社会の実現に向けて「育成と共生」を活動理念に、「環境」と「次世代育成支援」を重点分野として、グローバルに企業市民活動を展開しています。社会課題の解決の促進に向けて市民活動が持続的に発展していくためには、NPO／NGOの組織基盤の強化が必要であるとの認識のもと、2001年に本ファンドを設立以来、一貫してNPO／NGOの組織基盤強化を応援し、219件2億6千万円の助成をしてきました。

本ファンドの助成テーマは、「客観的な視点を取り入れた組織基盤の強化」です。社会課題の解決促進に向けて、国内で先進的な取り組みを展開するNPOや、新興国・途上国で活動するNGOが、第三者の多様で客観的な視点を取り入れて実施する組織基盤強化の取り組みを応援します。具体的な組織基盤強化の取り組みの前に、組織課題を抽出し解決の方向性を見出すために行う「組織診断」も応援します。

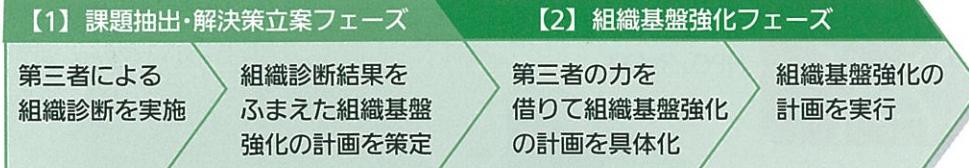
社会からNPO／NGOに寄せられる期待が大きい今、組織基盤強化の取り組みを通じて市民活動の持続的発展、社会課題の解決促進、社会の変革に貢献してまいります。先駆的な活動の実践と、組織の自己変革に挑戦するNPO／NGOの皆様からのご応募をお待ちしています。

2013年3月

パナソニック株式会社

### 助成プログラムの特徴

第三者の多様で客観的な視点を取り入れた組織基盤強化の一連の取り組みを応援します。以下の【1】と【2】の連続した取り組み、または【2】のみの取り組みでの応募が可能です。



### 組織基盤強化の意義

#### 組織基盤があって初めて個々のプロジェクトも発展していく



日本NPOセンター  
顧問 山岡義典さん

NPOサポートファンドは今年で12年目を迎え、NPOセクターの成長の一歩先を進みながら助成プログラム自体も進歩し、市民セクターに刺激を与えてきました。大変意義のある助成プログラムです。日本にNPOが根づいて以来、個々のプロジェクトをつくる能力は非常に高くなりました。しかし泥船にいくら立派な積み荷を載せても、いつかは沈んでしまいます。すなわち、しっかりした組織基盤(船)があって初めて個々のプロジェクト(積荷)も発展していくのです。これから組織基盤の強化に取り組まれる皆さんには、自分達が取り組む組織基盤強化のプロセス、そして社会課題の解決に向けた物語を、今後広く語っていってほしい。そのことを通じて社会の中へ、組織基盤強化の重要性を広め、NPOセクターの成長につなげていってほしいと思います。

-2012.11.20 贈呈式＆キャバシティビルディングフォーラム 総評より

2013年募集概要		※ご応募の際は、必ずホームページに掲載している応募要項をご覧ください。 応募要項は、4月22日よりパナソニックのホームページでダウンロードできます。			
		環境分野	子ども分野		
助成対象団体		環境問題に取り組み、強い市民社会の創造を目指すNPO／NGO			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●団体設立から3年以上であること</li> <li>●有給常勤スタッフが1名以上であること</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本国内に事務所があること</li> <li>※財政規模1000万円以上の団体を想定していますが、要件ではありません。</li> </ul>			
助成対象事業		<p>第三者の多様で客観的な視点を取り入れた組織基盤強化の一連の取り組みを最長3年まで応援します。以下の【1】と【2】の連続した取り組み、または【2】のみの取り組みでの応募が可能です。</p> <p><b>【1】課題抽出・解決策立案フェーズ</b> 第三者による組織診断を実施した後、組織診断結果をふまえて、組織基盤強化の計画を策定する事業。</p> <p><b>【2】組織基盤強化フェーズ</b> 第三者の力を借りて組織基盤強化の計画を具体化した後、組織基盤強化の計画を実行する事業。</p> <p>※「第三者」とは、応募団体が選定するNPO支援機関やNPO経営支援の専門家等のことを指します。</p>			
助成金額		<p>1団体への上限200万円</p> <p>※助成対象経費は、コンサルティング費用、事務局経費（人件費含む）、旅費交通費など組織基盤強化の取り組みに必要な経費</p> <p>●助成総額は、「2013年新規募集」「継続助成」あわせて、環境分野1,500万円、子ども分野1,500万円、合計3,000万円</p>			
助成事業期間		2014年1月1日～2014年12月31日			
応募受付期間		2013年7月16日(火)～7月31日(水)必着			
応募要項および応募用紙のダウンロードについて		4月22日より、パナソニックのホームページでダウンロードできます。 <a href="http://panasonic.co.jp/citizenship/pnsf/">http://panasonic.co.jp/citizenship/pnsf/</a> ※ダウンロードができない場合には裏面事務局のNPOまでE-mail、またはFAXでご連絡ください。			
助成事業のスケジュール					
<p>2013年 4月 告知開始 → 5月～6月 応募受付 → 7月～12月 選考 → 12月 公内表定覚書</p> <p>2014年 1月～12月 助成事業実施</p> <p>★5月～6月 組織基盤強化ワークショップ&amp;公募説明会</p> <p>★1月23日 贈呈式&amp;フォーラム</p> <p>2015年 1月～3月 インタビューウェブ公開</p> <p>2月～3月 提完了報告書</p> <p>★2月～3月 成果報告会</p>					

### 助成事例①

#### 組織診断は漠然としていたものが見え、夢に近づくための一歩



CAPセンター・JAPAN  
事務局次長 重松和枝さん

理事・スタッフの総勢13人で取り組んだ内部環境分析でしたが、日常の業務に追われ、なかなかできなかつた“夢を思い描く作業”を行えたことは有意義でした。また助成事業を通じて他団体の悩みを知り、学び合うことで安心感を得られたり、コンサルタントの方からのフィードバックを受けることで視野やアイデアも広がりました。何よりも、私たちの活動の重要性を認めて助成していただいたことが、モチベーション維持の力になりました。現在は夢を実現するため、組織診断の結果をもとに中長期計画と目標、社会的指標の策定などに取り組んでいます。

-2011年～2013年助成

### 助成事例②

#### ネットワークが広がり、企業との連携が実現



アクセス  
一共生社会をめざす地球市民の会  
理事・事務局長 野田沙良さん

2007年応募当時、過去の財務分析を行うとともに、3ヵ年の収入増加計画を作成して組織基盤強化に臨みました。サポートファンドで継続して助成を受けながら、当時有給職員がゼロであった事務局もパートやインターンを含めた5人体制を確立して、アカウンタビリティー（説明責任）の強化、資金調達活動の推進、さらにはデータベースの再構築や作業マニュアルの作成など大改造をはかりました。助成3年目には会員・会費額が2倍近くに達し、ボランティア登録者数も大幅に増加。企業との連携事業をはじめ、新規プロジェクトを開拓するなど、活動に広がりがでています。

-2008年～2010年助成

過去に助成を受けられた団体の助成事業概要、推薦理由等の選考結果のほか、助成事例のレポート、フォーラムなどのイベントレポート等、さまざまな関連情報をホームページに掲載しています。

## Panasonic NPOサポート ファンド <http://panasonic.co.jp/citizenship/pnsf/>

### お問合せ

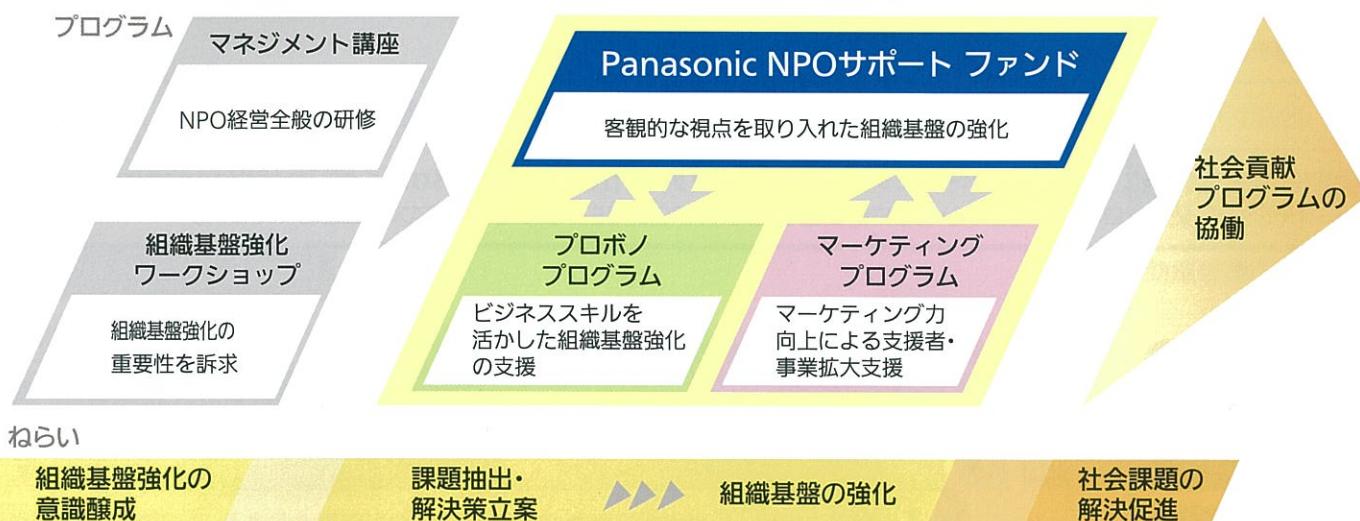
Panasonic NPOサポート ファンドの応募についてのご相談・お問い合わせは「応募要項」「応募用紙」をご覧のうえ、下記NPOまで。ご相談は月曜日から金曜日(10:00~17:00)にE-mailまたは、お電話でお願いします。

事務局	環境分野	子ども分野
	特定非営利活動法人 地球と未来の環境基金 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-2-5 CTNビル3階 TEL : 03-5298-6644 FAX : 03-3255-2202 URL : <a href="http://www.eco-future.net">http://www.eco-future.net</a> 担当 : 美濃部・木村 E-mail : eff-spf@eco-future.net	特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル267-B TEL : 03-3510-1221 FAX : 03-3510-1222 URL : <a href="http://www.civilfund.org">http://www.civilfund.org</a> 担当 : 坂本・武藤 E-mail : kodomo@civilfund.org
<p>パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 CSR・社会文化グループ 〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル 担当: 東郷 TEL : 03-3574-5665 FAX : 03-3574-5690</p>		

### ご参考

### パナソニックのNPO／NGO組織基盤強化プログラム

パナソニックのNPO／NGO支援は、組織基盤強化の支援に特化して取り組んでいます。NPOサポートファンドの他、「マネジメント講座」「組織基盤強化ワークショップ」「プロボノプログラム」「マーケティングプログラム」を展開しており、NPO／NGOの社会的インパクトの増大をめざし社会課題の解決促進に貢献してまいります。



#### サポートファンド 2012年プロボノ プログラム

##### サステナブルな組織構築に向けて、 大きく一歩前進

目標の実現に向けて中期計画は作成していたのですが、ビジョンが地球温暖化防止というあまりにも壮大なものなので、そこを具体的にどう積み上げていけばいいのかが課題でした。プロボノからの最終提案では組織強化のための取り組みと仕組みづくりに加え、会員拡大の取り組みを7つのステップに整理して提案いただき、まさにやりたいと思っていたことを“見える化”してもらいました。プロボノの支援を受け、団体内部に変化の機運が生まれたことも大きな成果です。



気候ネットワーク  
事務局長 田浦 健朗さん

#### サポートファンド 2012年マーケティング プログラム

##### 自分たちは何者かを問い合わせ、 新聞休刊を回避

新聞休刊の危機をマーケティングの手法を活用して、8ヶ月間で購読部数を820部から1570部に伸ばしました。顧客を学び、これまでの思いついたことを実行するやり方から、データ分析にもとづき戦略をたてて実行するスタイルに変わりました。またマーケティングの思考、手法を通じて、スタッフのマネジメント力の向上にもつながっています。



全国不登校新聞社  
編集長 石井 志昂さん